



新潟大学 (新潟県)

日本語力を磨いて、リアルな日本を体感しよう！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

新潟大学は1949年に設立され、10学部、3大学院研究科、医歯学総合病院を有し、約12,000人の学生と約2,600人の教職員を擁しています。日本海に面している県にある大学としては、最大規模の大学です。新潟市にふたつのキャンパスがあります。市の中心部に位置する旭町キャンパスには、医学部、歯学部および附属新潟小学校、中学校、特別支援学校があり、市の西部にある五十嵐キャンパスには、8学部があります。

② 国際交流の実績

大学間交流協定：30カ国・地域 104件
学部間交流協定：38カ国・地域 259件



③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2025年：留学生数459人、日研生4人
2024年：留学生数517人、日研生4人
2023年：留学生数522人、日研生5人

④ 地域の特色

新潟県は質の良いお米と日本酒の産地であり、また、豪雪地帯として有名です。新潟大学の所在地である新潟市は、あまり雪は降りませんし、東京と比べて物価が安く生活費が多くかかりません。ですから日本語と日本の（地域）文化を学びたい学生にとっては、ちょうど良いところです。夏は大学の近くにある海で海水浴、また、冬はスキーやスノーボードといった雪国らしい楽しみ方もできます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

留学生だけの日本語のクラスで日本語を学ぶのではなく、日本人との共修科目（例：アクティブラーニングA/B/C）の中で、実際に使用しながら日本語を学ぶ機会を設定しています。共修科目では、広く日本の文化について、日本人とできるだけ意見交換をしながら、中から見る日本と、外から見る日本を比較することで、より深く日本を理解してもらうことを狙いとしています。もちろん留学生向けの日本語のクラスの中でも学ぶことが可能です。

ここでいう日本の文化とは、歴史や宗教などに限らず、アニメや若者文化といった、現代日本文化についても含まれます。さらに新潟という地域の特徴的な文化も学ぶことができます。新潟は日本でも有数の米どころ、酒どころです。また世界でも有数の豪雪地帯でもあるので、独自の雪文化などを学ぶこともできます。

また、実地見学旅行、ホームステイなどに参加する機会も設けています。これらに積極的に参加することによって、本物の日本を肌で感じてもらいたいと思っています。

③ 受入定員

10名（大使館推薦8名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

このプログラムに参加を希望する学生は、新潟に来る前に日本語能力検定試験N2に合格しているか、あるいは講義内容を理解するのに必要な日本語能力を有していなければなりません。また学業に専念してもらうために家族と一緒に来日することはできません。

⑤ 達成目標

日本語で調べた日本について、日本語でプレゼンテーションできる力をつけることを目標とします。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月下旬 ～ 2027年8月下旬
（在籍期間：2026年9月下旬～2027年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール（例）

9月下旬 渡日
10月 始業式 / 新大祭
11月 民謡コンサート / ホームビジット体験
12月 能鑑賞
1月 新年会
2月 能体験ワークショップ
4月 黎明祭（新入生歓迎会）
6月 ホームステイ
7月 盆踊り大会 / 歌舞伎鑑賞
8月 学習成果発表会 / 地域の祭り / 終業式
8月下旬 帰国



⑨ コースの修了要件

プログラムを修了すると、修了証書及び成績証明書を発行します。
修了要件は、必須科目4単位（2単位/期）を含む年間20単位以上（最低10単位/期）の履修です。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

各自の興味にしたがって日本のあらゆる文化について、日本語クラスと日本人との共修クラスを中心に学んでいきます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

秋期には課題研究Ⅰが、春期には課題研究Ⅱが必須科目となります。

◆ 課題研究Ⅰ・課題研究Ⅱ

課題研究のため、演習形式で行われます。担当教員からレポート作成や発表会に向けて指導を受けます。

Ⅱ) 選択科目

一般学生が受講する科目には、日本語・日本文化研修留学生も同じように受講できる科目が多くあります。授業を通じて日本人学生との交流を図ることができます。地域に根ざした文化を学べる授業もありますので、新潟をよりよく知ることができます。

● 必須科目（予定）

	科目名	単位	時間数
①	課題研究Ⅰ／Ⅱ	各2	32

● 選択科目（日本語科目）（予定・一部抜粋）

	科目名	単位	時間数
②	日本語読解Ⅰ～Ⅵ	各1	16
③	英語による日本語文法解説	1	8
④	中国語による日本語文法解説	1	8
⑤	JLPT-N1	1	16

● その他の選択科目（予定・一部抜粋）

	科目名	単位	時間数
⑥	日本事情科目	2	15
⑦	多文化間共修A/B/C/D	各1	各8
⑧	ビジネス日本語	2	16
⑨	地域から文化を考える	2	15
⑩	日本と外国人A/B/C/D	1	8
⑪	アクティブラーニングA/B/C	各1	各8
⑫	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA/B	各2	各16
⑬	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解A/B	各2	各16
⑭	国際共修：留学生と考える日中言語文化A	1	8

◆ 各種日本語科目

日本語能力検定試験のN1対策授業、日本語読解と英語または中国語による日本語文法解説のクラスが受講できます。ほかには少しレベルの高い、社会人としての日本語力やコミュニケーション能力、異文化理解力などを身に付ける科目があり、これは将来国際的な仕事をし、日本／日本人と関わることが希望する人向けに設定された授業科目です。また将来、日本の大学院などに進学するため、日本語と自分の母国語、日本の文化と自分の文化を比較・研究する科目も受講できます。

● 履修モデル（N2レベル）

	月	火	水	木	金
1限			⑪B		
2限			⑥	⑦B	⑩
3限	⑬	②(VI)		②(V)	
4限		①			
5限					

N2レベルの学生が、週に8コマ、11単位を修得する履修モデルです。履修科目名は、科目一覧表に書かれている数字と照らし合わせてご確認ください。他にもレベル別に履修モデルを組んでいます。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

授業科目ではありませんが、年間の行事の中で、施設見学や地域住民と交流する機会がたくさんあります。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本人学生とともに学べる科目がたくさんあります。また日本人学生をチューターとして配置しています。また「外国語学習支援スペース」などでは、日本人学生の外国語学習のチューターとして活躍しています。

⑪ 指導体制

本プログラムでは担当指導教員と、場合によりチューターによる個人指導を受けます。個人指導の内容は主に、レポート作成に向けての学業指導です。必要に応じて生活指導も行います。



学習成果発表会

■宿 舎

新潟大学国際交流会館

設備：バス、トイレユニット、キッチンユニット、給湯設備、冷暖房用空調設備

備品：ベッド、机、椅子、書棚、洋服タンス、食器棚（テーブル付）、食卓イス、ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、消火器

寄宿料：月額22,000円（単身室）

外国人研究者および留学生のための宿舎としてキャンパス内に国際交流会館があります。

また、大学近くのアパートを「生協委託宿舎」として、留学生に提供しています。（月額25,000～45,000円）



■修了生へのフォローアップ

日研生担当教員が修了生とメールなどで常に連絡を取り合っています。

また、入試説明会などで当該国に行く場合には修了生に協力してもらっています。日本の大学院への進学を希望する修了生に対して相談に応じています。



■問合せ先

<担当部署>

新潟大学国際交流センター / 国際交流推進課

住所：〒950-2181

新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL： +81-25-262-6189（直通）

FAX： +81-25-262-7519

Email： intl-scholarship@adm.niigata-u.ac.jp

<ウェブサイト>

国際交流・留学情報ホームページ：

<https://www.niigata-u.ac.jp/international/>

新潟大学：

<https://www.niigata-u.ac.jp/>